

令和8年度 県央地区特別支援教育研究大会

令和8年8月5日(水)、綾瀬市中央公民館にて令和8年度 県央地区特別支援教育研究大会(兼)県央地区教育課程研究会特別支援教育部会が行われ、座間支援学校は分科会発表校として参加しました。

大会の研究テーマ「一人ひとりの可能性を引き出し、育てるために」に基づき、座間支援学校は「ICTで広がる自己理解と自己表現の変容 ～自らの操作が生む「できる」実感と可能性の気づき～」という分科会テーマで、実践事例を通した生徒の変容の様子を動画やアンケート集計等も踏まえ発表しました。

グループ協議はワールドカフェ方式(イラスト図参照)で行いました。協議テーマ「自己理解・自己表現を育むために取り組んでいること、困っていることや課題」、「ICTを活用して、どのような協働学習ができるのか」について、各グループ、活発に意見を申し合いました。

助言者である神奈川県立総合教育センター指導主事 麻薙 岳様からは、大会研究テーマにもあるように、ICTを活用しながら自分の考えを整理したり、他者との学び合いを通して考えを深めたりすることで、生徒自身がもつ可能性を引き出す実践であった等講評いただきました。

今後、協議内容や助言いただいたことなどの学びを生かし、学習のねらいを達成するための手立ての一つであるICTの活用を通して、子どもの「わかる」「できる」「伝わる」を伸ばす実践に取り組んでいきたいと思います。

